

〔萬葉集十四東歌〕相聞

古非思家婆伎麻世和我勢古可伎都楊疑宇禮都美可良思和禮多知麻多矣

〔催馬樂〕律

大路二段拍子廿八各十四第二反猶有空拍子藤家五拍子

おほ於ちにそひてのぼれるあをやぎが花やあをやぎがはなや、

おをやぎが玄なひを見れば今さかりなりや今さかりなりや、

〔大和本草十一木〕柳 數品アリ楊柳ハ通稱ナリ取ワキテハシタリヤナギヲ云凡柳ハ水濕ヲ好み、

佗木ニ異リ插テ生活シ易ク長ジャスシ柳ヲ多ク植レバ薪乏シカラズ、

〔和漢三才圖會八十三〕柳 小楊 楊柳 和名之太里柳 今唯云夜奈木 釋氏呼曰尼俱律陀木

略○中

按柳極易生易長陶朱公所謂種柳千株可足柴炭者是也凡煉膏藥用柳木箋或作俎板及蒸餽亦皆以無毒也

〔重修本草綱目啓蒙二十四〕柳 ハルスキ古歌 子ミヅグサカゼナグサカゼミグサカ

ハゾヒグサカハタカグサカハタグサ共同シダリヤナギ和名シダレヤナギ一名

綠卿事物漏春和尚同上 閑車孫事物異名梔烟名物絲譜芳義孫錄異天棘通志

楊柳二字共ニヤナギト訓ズ柳ハ枝ノ下垂スルヲ云楊ハ下垂セザルヲ云白楊水楊杉楊松楊皆

楊ノ類ナリ然レドモ後世ハ楊柳ト熟シテ柳ノコトトシ詩文ニ用ユルコト隋煬帝ヨリ始ルコト開河記ニ見ヘタリ柳ノ水邊ニ多ク生ズル常ノシダレヤナギナリ一名コシダレメヤナギボ

ソバヤナギ是宮柳花鏡傳ナリ一種オホシダレト呼ブアリ葉濶サ一寸餘長サ七八寸大木ニナレ

バ枝垂ルコト二三丈ニ至ル是垂柳花鏡傳ナリ凡ソ柳ハ春末ダ葉ノ出ザル先ニ花アリ六分許

穗ヲナシテ黃色ナリ彼實ヲ結テ少シ絮アリ是柳絮ナリ然レドモ和產ハ絮甚少シ漢種ハ絮多